

平成29年 11月の思いやり通信



エコライフ - 日本の家に見られる工夫

中庭と屋根裏の秘密

- ・中庭があることで風通しがよくなり、夏過ごしやすくなるというメリットがあります。
- ・上空を通る風が空気を吸い上げる効果によって、夏の熱い空気が家の外へと逃げていきやすくなります。
- ・中庭に小さな池や井戸を設けている場合もありますが、これも暑さ対策。水辺のまわりの冷やされた空気が家の中へと伝わって室温が下がるからです。
- ・「熱の伝わり方」には3種類
 - 伝導：熱が直接伝わること。
 - 放射：光などが当たって熱が伝わること。
 - 対流：暖かくなった空気や冷たくなった空気が移動して熱が伝わること。
- ・屋根裏（小屋裏）があると屋根と部屋の間には距離ができるので、放射熱と対流熱がコントロールされ、家の中の熱が逃げやすくなります。太陽の光のもたらず熱が天井に伝わって部屋に入ってしまうことを防ぎます。
- ・茅葺き屋根や藁ぶき屋根の家は、部屋から屋根までの空間が広がっています。その空間が広いほど熱は伝わりにくく、夏の暑さを和らげます。
- ・冬には囲炉裏で炊いた熱がその空間にこもり、部屋を暖かくします。
- ・囲炉裏で炊いて出た煤には、屋根裏の茅や藁が傷むのを防ぐ効果や防虫効果があります。

（高垣吾朗氏著「夢を叶える家づくり」より引用・抜粋）

